

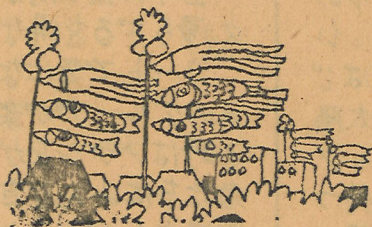
発行責任者 柳 利夫

住所 東村山市萩山町5-6-26-301

Tel. 0423-92-8808.

編集者 川村 英明

春季・市民大会 終わる



大奮闘!! — 壮年 順当勝! — 女子 無念!! — 一般男子

恒例の春季・東村山市民庭球大会が5月14・21の両日、新設の久米川コートで行なわれました。両日とも天気に恵まれ全日程無事終了することができました。我がクラブ「市民テ」の戦績は次の通りです。

＜一般男子＞

- 1回戦で敗れたペアー、細萱・楠神 組、江下・小林組、松井・工藤 組
- 2回戦まで進んだペアー、増沢・本保 組、川島・桜井組、
- 2回戦で敗れたペアー、藤井・西原 組、翠川・近藤組、
- 3回戦まで進んだペアー、笹野井・中根 組、宮崎・山本組、杉山・河野 組、鈴木・新井 組、
- 4回戦まで進んだペアー、川村・福山 組、武谷・長井組、広川・山口 組、
- 準々決勝まで進んだペアー、国川・米田道 組、

＜壮年＞

- 1回戦で敗れたペアー、米田寛・高瀬 組
- 2回戦で敗れたペアー、柳・光永 組、筑紫・中村 組
- 準決勝まで進んだペアー、横山・米沢 組、浦川・阿辺川 組、

＜女子＞

- 1回戦で敗れたペアー、河野・井上 組、広川・柳 組
- 2回戦で敗れたペアー、宮崎・徳永 組、
- 2回戦まで進んだペアー、山口悦・福島 組、下谷・桜井 組、原・志村 組、
- 準々決勝まで進んだペアー、迎・中根 組、栗原・近藤組、
- 準決勝まで進んだペアー、藤野・木村 組、上釜・小林組、
- 優勝したペアー、武谷・山口 組

なお、各都の入賞者は次の通りです。

＜一般男子＞

- 優勝 中村・白石(グリーン) (6/2-3/2) 原田・原田(一般)
- 三位 湯沢・小林(一般) (6/2-1/0) 塚沢・関根(一般)

＜壮年＞

- 優勝 西条・村井(日ベル) (6/2-1/1) 石崎・宗田(グリーン)
- 三位 阿辺川・浦川(市民テ) (6/2-3/1) 横山・米沢(市民テ)

＜女子＞

- 優勝 武谷・山口(市民テ) (6/2-4/1) 渡辺・坪谷(日ベル)
- 三位 瀬尾・野口(グリーン) () 藤野・木村(市民テ)

まず勝敗の結果からみますと、「市民テ」として、一般男子は米田・国川 組がベスト8に残ることが出来ました

が、他は、くじ運ということはあるにしても善戦したものの今一步のところで無念の涙を呑んだとの感があります。この一番の原因は「市民テ」の諸氏のテニス歴が浅いということだろうと思われれます。特に試合経験が少ないということは、実力にそれ程の差のない試合では、大きなハンディキャップとなります。試合だけしておれば自然に強くなるという短絡的な見方は正しいとは思えませんが、日常の練習が試合でも出せるよう場数を踏むことも必要だと思います。それから年齢が高くなっていることも現段階では不利に作用していると思います。今回はダブルスでしたから、シングルスのように年齢がどうしようもない障害となるというわけではなかったのですが、テニス歴の浅いのと相まってハンディキャップとして現われたように思います。しかしこれは肉体的には退化をできるだけ防ぐ以外どうしようもないことですから、技巧的にもっと進歩するよう日常はげみ頭を使った試合ができるよう心掛けることも必要だと思います。

それにひきかえ、壮年の部の浦川・阿辺川 組は準決勝で惜しくも敗れたとはいえ、大熱戦を展開し、年齢合計百数十才とは思えない奮闘振りでした。どうもおつかれ様でした。

女子は、1回戦で敗れた河野・井上 組は三位の瀬尾・野口 組と、広川・柳 組は準優勝者の渡辺・坪谷 組と緒戦からあたってしまったという不運はありましたが、他は市内では着実に伸びていると思われれます。ですから2回戦、3回戦で「市民テ」同士がぶつかるということも多く見られました。今後共一層腕にみがきをかけてほしいものです。

さて試合への参加の裏から「市民テ」を見ますと、男子は76組中16組(実際は棄権者が13組もありましたから63組)21%、壮年に至っては10組中5組(同じく実際は8組)50%、女子では、26組中11組 42%と非常に高く「市民テ」が市民各層のテニス人口の底辺を拓けつつあるということが出来ます。

また運営の面から見ても、市の硬式庭球連盟での「市民テ」の活躍だけでなく、試合当日の準備・後かたづけ等の主力に「市民テ」があったということも確かです。私達の「市民テ」は試合に勝負に強くなることをことさらにさけて通るわけではありませんが、テニスを一生の楽しみ・趣味・健康保持そして市民の心のふれ合い等々の手段としても重視する以上、単に勝った負けたに一喜一憂することなく反省すべきところはちゃんと反省し改めながらも「市民テ」のペースで今後も頑張っていきたいものです。なお技術向上につきましては技術部を中心に一層策をねっていきたいと思います。(文責 武谷)

私とテニス〈連載〉(東住ク) 山崎 望子

ラケットの握り方も知らないまま、去年8月に入会してから9か月。やっとテニスの楽しさが少し分かってきました。体格のいい割に、ここ2~3年健康状態が長続きせず、調子の良いのをいいことに無理をするとすぐガクンと腰痛が始まります。自分でもほとんど情けなくなっていたところ、お医者様がテニスや水泳の様なスポーツをやるというので忠告して下さいました。お陰様で市のこのクラブに入会させていただきましたが、はじめは、いつまで続けられるか本当に心もとない決意でしたが、はじめてみるとまず、技術部の方々の親切な指導に、暑い太陽の下、つつい時間経つのも忘れて球を追いました。クラブの雰囲気も大変なごやかで、慣れてくると順番を待つ間、お仲間と話はずんで、あわてて自分の番を迎える様になりました。

6ヶ月はまたたくまに過ぎ、いつしかコートに霜が降り、ローラーをかける季節になりました。腰痛の方は、テニスをはじめたからと言ってすぐ全治するわけではなく、冷たい風にはやはりダウン。これでもう続けられないのかなあ〜と残念に思いましたが、始める時、一緒に入会した主人に『休み休みでも途中で止めては、だめだよ!自分の体は、本人が頑張らなくては、周りの励ましようがない。石の上にも3年。3年頑張ったらおもしろくて止められなくなるから、そこまで頑張るんだよ』と、この時も、枕元で言われてしまいました。その頃丁度、房前テニス教室が始まりました。上手な人達に混じって、一回一回ただコートに通うだけでもと思い、自転車のペダルを踏みました。しかしこの教室に出てみると、教えて下さる房前先生、武谷さんの本当に丁寧な指導に、気がついてみたら全部通っていました。一生懸命教えて下さる心意気にいつしか私の心も引きしまり、体の方も少しずつ調子を取り戻しはじめました。

久米川辻の新しいコートに今日も、もうすぐ5才になる次男を連れてやって来ました。誰かが『僕もお供でよくがんばるネー』と、声をかけました。そうです。私が主婦として、未知のスポーツをここまで続けられるのは、もう一つ子供が健康であったことだと思います。練習日は、主人と一緒にですので、長男は近所のお友達が良く、留守番。次男は、まだ親の目の届く所で遊ばなければなりません。いつしか、お父さん、お母さんと同じ様に、ぞっぱった鼻とおでこだけ日焼けしています。家路に急ぐ自転車の後で『お母さん、今日、フォーティ、フィフティンだった?』と、聞きかじりの一つ覚えではなしかけられ、思わずふき出してしまいます。テニスの楽しさが、我家に明るさと呼び戻してくれていることだけは確かです。これから、マイペースで努力していきたいと思います。

ミニ合宿報告 (本町ク) 米澤 行夫

世の中も変れば変わるものである。入会する前までは、相手のコートの中に球を打ち込めば、それで良いと簡単に思っていたのだが、自分がやってみて初めてむづかしい事がわかり、いよいよファイトが湧いて来ました。そして楽しさも加わり、最近では土曜、日曜の待ち遠しいこと。

入会して3ヶ月で、ミニ合宿に参加する機会を得て、富士の裾野まで行って来ました。東村山を8時に出発して2時間余りで河口湖に到着、交通の便が良く、すぐ民宿に入り、着替えてコートに向う。林道を15分位裾野の中に入り、唐松林につつまれたコートの数にびっくりしました(普段富士に来た時は、テニス等のことは頭にありませんでした

ので)。この日は好天に恵まれ、昼から夕方まで、基礎練習をしてから練習試合をみっちりやり、汗を流し、夜は大いに話合いの時間をもち、9時半に就寝。

翌朝5時に起床、7時半に出発。コートに着くと、まだ誰も来ていない。ウグイスや可愛い小鳥のさえずりを耳に昼食まで一生懸命、昼1時間と3時に10分位の休息だけで夕方5時半まで続く。足が棒の様になった。みんな好きだなとつくづく感心しながら宿に帰った。

翌7日朝小雨が降っていて、残念ながら最後の日は云々帰らざるを得なくなった。

コートで気になった事、隣りのコートで若い男女12~13人のグループが楽しんでいました。コートの支配人が「帰る時はブラシをかけてからお帰り下さい」と云ったが、若者たちはみんな自動車の方へ帰り出した。そこで柳さん、中根さんが「君たち……」ときたのである。あとは云わなくてもお判りのことと思います。みなさんも、これから何日、どこでテニスを楽しまれるかもわかりませんが、決められた事は守って、気持ち良くひきあげて下さい。楽しみの中には、苦勞もあることを忘れないで下さい。

帰る途中、車の中で世の中は変わった、世の中は平和なのだ、自分に云いきかせながら、これからも機会があったら参加したいと思う。またみなさんも暇は自分でつくって楽しんで下さい。

夏の合宿 7月21金・22土・23日 那須グリーンウッドテニスランチで実施

東村山市民テニスクラブ協議会の夏の定例行事となった夏季合宿、今年もその具体的な計画を練る頃になりました。過去に山中湖の忍野村、群馬県片品村、昨年は那須グリーンウッドテニスランチとジブシーよろしく、渡り歩いて来ましたが、各回それなりに楽しく意義ある合宿であったと思います。

何と云っても盛夏の合宿でもあり、学生のそれの様に簡単にテニスに明け暮れ、技術向上一本槍の合宿を計画するのではなく、会員相互の一層の親睦をも志向し、家族ぐるみでも十分に楽しめるテニス旅行の企画をと考えてみたいと思います。

ファミリーでの参加を希望すると共に、友達を誘っての部外者の特別参加も歓迎したいと思います。皆様の積極的な参加をお願いします。参加予約を含めて募集に入ります。早目にお申し込み下さい。

実施要領

- 日時 7月21日(金) 22日(土) 23日(日)
- 場所 那須グリーンウッドテニスランチ
栃木県那須郡那須町大字芦野字築場
- 内容 詳細な合宿計画、内容等は実行委員を決めて検討いたしますが、大略下記の通りです。
 - (1) テニスロッジに宿泊(冷房付)
 - (2) コート 3面(ハードコート)を使用
 - (3) ウィンブルドン大会他の写真会を計画
 - (4) キャンプファイア、花火大会を計画
 - (5) その他楽しい企画をいっぱい

参加人数 大人30名、子供15名を一応定員とします。定員になり次第×切らせていただきます。

費用 概算次の通り 大人男性 15,000円程度
女性 12,000円程度
子供(小学生) 10,000円程度

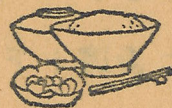
申込先 予約金5,000円を添えて、協議会事務局笹野井ままでお申し込み下さい。

東村山市民テニスクラブ に入会して(78年2月入会)

(恩多ク) 川下 カツ

この優雅なスポーツ、テニスは私の小さい頃?(若い頃)からのあこがれでした。色々な事情から長い間チャンスにめぐまれませんでしたが、近頃のテニスブームも手伝ってラケットを手にしたのが約1年前、「日曜大工」なるぬ「日曜テニス」にすっかり夢中になってしまいました。

入会の時はまたクラブ員の平均年齢が高くなったとあまり歓迎されなかった新人でしたが、会長さんはじめクラブ員の皆様の献身的なご指導と暖かい雰囲気ですっかりひたって、コートに出るのが楽しくなりました。心から感謝しています。3ヵ月たつて今、大きなラケットの面に小さなボールをあてるということが思ったより困難な作業だということをしみじみ感じているこの頃です。これからよろしく。



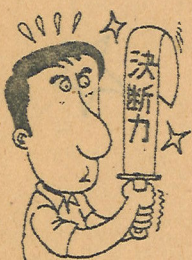
(東住ク) 森 希一

私がテニスクラブに入ったのは、家内の勧めによるものです。それまで、楽しみにして出かける家内の姿を見て「あんまり無理して、骨など折らないでくれよ。」とひやかしていたのですが、今度はこちらがひやかされる立場になってしまいました。

それほどに、私のテニスの腕前はひどいもので、まだまだ楽しむ境地に至っておりません。なんとか、ふつうに打ち合えるぐらいに-----とがんばっています。

(青葉ク) 杉山 佳代子

東村山にきてから半年程して生活も落ち着いてきた頃、毎日の家事と子供の世話の単純な繰り返しに、何か物足りなさを感じていました。そんな頃、運動公園を通りかかってあの軽いポーンという音をきき、学生時代にほんの少しにぎったラケットの感触を思い出して、クラブに入れていただいた次第です。入会して4ヵ月ほどたちましたが、先輩の方々の親切なご指導にこたえようと、なげま下さる一球一球を大切に打ち返し、一日も早く初級者クラスにすすみたいとがんばっている毎日です。



(本町ク) 米沢 行夫

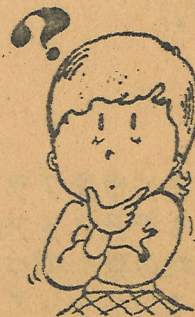
1月の暮大会が終わった後、茶のみ話に阿辺川さんよりテニスの話が出て、その折、私は仕事の都合でそのうちに入会したいと申しました所、そんなことでは一生テニスは出来ないとの事で、それならばという事になり入会させていただきました。早速2月から練習に参加させて貰い、熱心な指導のもとに、毎週楽しく練習させていただいております。(夢にまでテニスが出て来るこのごろです。)私が今までにしたスポーツの中で、最高の様に思います。

(恩多ク) 迎 千栄子

年と共に体力が衰え気分的に減入っていました。「少し運動でもすれば」と主人や子供達にすすめられ入部させて頂きましたが、武谷さんを始めAクラスの方々から細かい御指導を頂き年を忘れて懸命にボールを追い、ある時は厳しい訓練に足がついてゆかず悲鳴をあげそうになった事もありました。暖かいクラブの雰囲気の中で若さを取り戻した喜びに浸っています。柳会長さんを始め役員の方々に心から御礼申し上げます。今後よろしく。

(本町ク) 樋口 善一

運動不足を解消するため、マラソンなど少しやりましたが長く続かず、何か楽しみながらやれるものかと思っていたところへ、運動公園でのテニスクラブを知り、入れて貰いました。3ヵ月位たつましたが、ていねいに教えて貰い又皆さんのマナーもよく毎週練習に来るのを楽しみにしています。運動神経がにぶいため、なかなか上達しないので先生に同じ事を注意されますが、一生懸命やりますので、よろしくお願ひします。



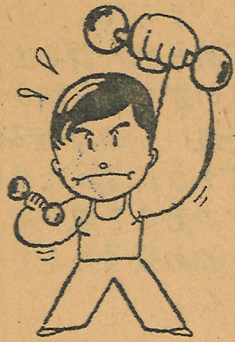
(青葉ク) 桜井 時代

私がはじめてテニスのラケットを握ったのは、〇〇年前の中学1年の時のことです。その時は軟式でした。高校に入って硬式にかわり、以来ずっと親しんできています。でも大学・結婚・出産と十年近くブランクがあり、子供に手がかからなくなって、幸い、主人も理解してくれて夫婦揃って協議会に入会できたことで再びラケットを握ることができました。武谷さんをはじめ、コーチのみなさんの指導のもと、少しずつ、昔の動きをとりもどそうと練習している現状ですが、今後ともよろしくお願ひいたします。

(本町ク) 工藤 昭洋志

私がテニスを最初に始めたのは昨年11月に職場での初心者対象の講習会に参加したのが始まりで、しかもラケット等も借り物で付き合い程度のものでした。当時は快晴に恵まれ、テニスコートは華やかな雰囲気にもまれ、陽光の下でコートも縦横に走り回り汗(冷汗も含む)を流した後の爽快さは何ものにも替えがたいものでした。

それ以来街中や電車の中或いは喫茶店等で、ラケットを持つ人かやたらと目につくようになり、又機会があれば積極的に行動を起こしプレーして見たいと思っていた矢先に、市民テニスクラブを知り入会した次第です。入会当初は練習日が狩遠く、いざ練習をしてみると現実の厳しさに直面し、常に力みすぎてよいショットになりません。テニスは力よりもリズムとタイミングでどうしたら流れるようなスムーズな動きが出来るか、それには基本に忠実でなければならぬ事を常に思いつつ現在に至っています。今後共に御指導下さる様お願ひ致します。



'78春季 市民大会に 初参加して

初めてのダブルス

桜井宣行

1回戦は勝ちたい、これが試合参加を申し込んだときからの念願でした。いざ試合開始、スコアが0-3になった時これはアブナイゾと思いましたが、さいわいにしてパートナー(川島鋭さん)にも恵まれ6-4と逆転することが出来ました。大成功、大成功。

2回戦は大先輩の笹野井・中根組、先の試合と違い精神的にリラックスして戦えましたが、実力の差はどうしようもありませんでした。さあ、来年を目指して今日から練習、練習。

(東住ク) 川島 鋭裕

昨年8月に市民クラブに入会して約8ヵ月、それ以前は、合計しても市民クラブの練習時間にして半年間にも満たず、しかも会社の寮の横にたまたまコートがあり、寮友と我流でボールを打ち合っていたテニス歴しかない私が、技術部の皆様や房前先生のレッスンを受け、多少はボールが打てる気持ちになって参加したのが今回の大会です。

学生時代はずっと水泳をやっており、かなり大きな競技会にも参加したことのある私ですが、正直言って今回くらい身体が動かなかったのは初めてです。水泳ではスタートして水の中に入ってしまうと、あとはただ思い切り泳ぐだけで自分がいかに苦しさに耐えるかということだけなのですが、テニスの場合、ある時侯では全責任が一人のところ集中し、しかも多少なりとも周囲の人の目が集まるということがあるため、なんとかしてやろうという気分になり勝ちなことが分かりました。特に容易なボールの場合、これを打ち込んでなんとか得点を、という考えが頭に浮かぶと体に力が入りタイミングは狂い、ラケットの面のことなど頭の中から消えてボールははるかベースラインをオーバーということになりました。こうなると房前教室でならったことなどすべて忘れて、なんとかボールを相手コートに入れることのみを考えるようになり、相手にチャンスを与えるという最悪の形になってしまい、試合はいつのまにか終わってしまいました。

今回の大会参加で得たことは、動きは身体に覚え込ませなければならぬということです。頭の中だけで理解した技術では数多い練習ボールの中ではたまたま良い返球が出来たとしても、一球一球が大変な試合ではあまり役立たないということです。

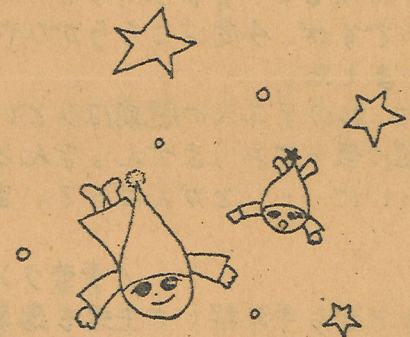
いつの日か思い通りの試合が出来ようになるのを期待しながら、技術論を身体に覚え込ませるため今後も数多くの練習、試合に参加していこうと思っています。

広報部からのお願い

会員相互の親睦・交流を深めるための「通信欄」を新たに設けたいと思います。休部の方を含めて近況報告とか、テニス用品、レコード、本などを譲るとか、希望する品と交換するとか、テニス用品の安売り情報など-----いろいろな通信をお寄せ下さい。

方法は、原稿用紙(できればヨコ書26字)に書いて、各月の20日までに 広報部の川村(青葉クラブ)にお渡し下さい。

(コートで渡すか又は郵送して下さい)



★
編集後記
★

市民大会の両日とも天候にめぐまれ、また2月に入会された方々からもたくさんの原稿を寄せていただき、今までにない量になりました。御協力ありがとうございました。次号には、初心者の方々の練習(2月以来の)を総括し、夏から秋にかけてどのような奥に重宝をおいて練習をすすめる予定なのか、技術部でまとめていたべく予定です。